



数値と事例が語る「在宅医療」と「地域包括ケアシステム」

入院患者1人分の費用で.....3人の在宅患者を診られる

初期集中支援含めた認知症の医療・介護費用.....自宅は病院の2分の1

認知症の精神病院費用は.....施設・自宅に比べて突出して高い

在宅でここまでできる検査・処置・治療

海外の看取りはどこで？

日本とまるで違う欧米の「施設」





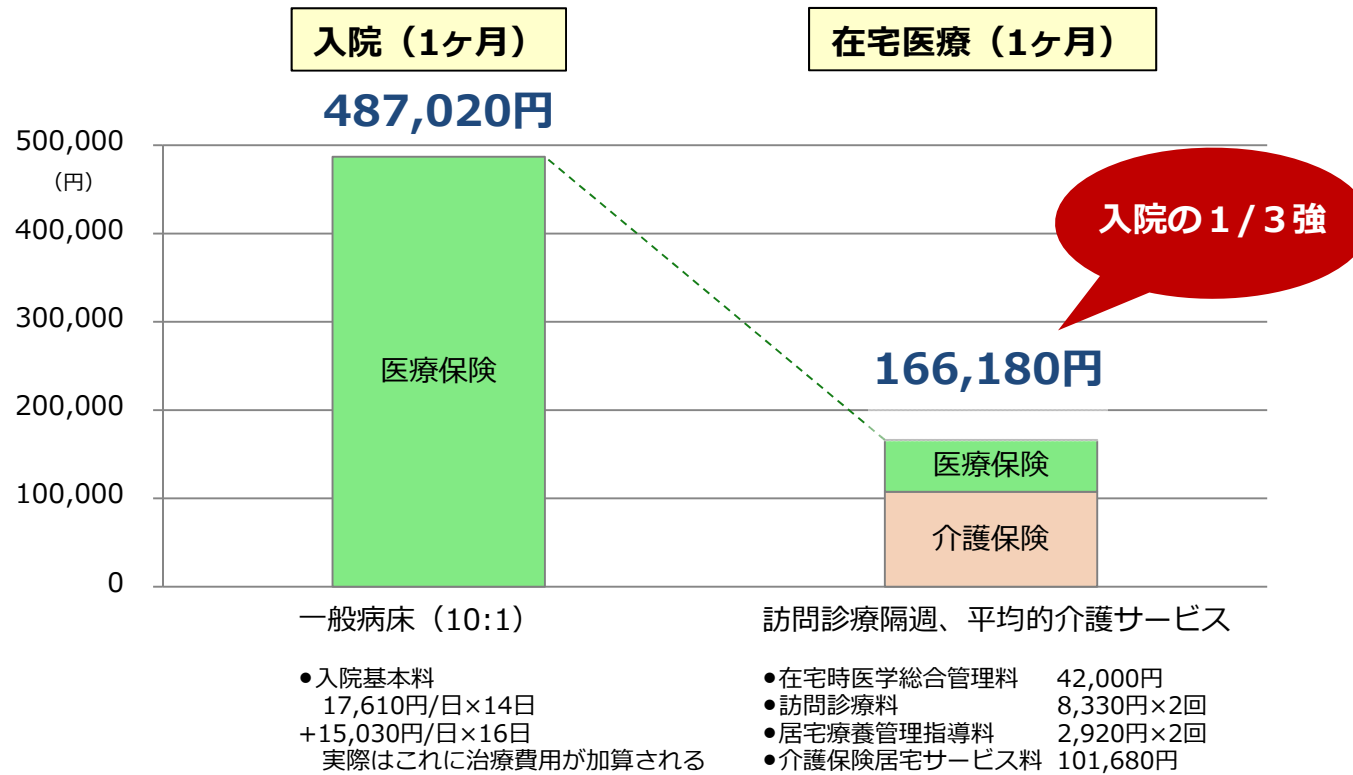
在宅医療は入院の3分の1強の費用で済む

1ヶ月入院費用を比較してみると、

- ・ 10:1病床に入院した場合の費用は**487,020円**
- ・ 在宅医療における医療・介護費用は**166,180円**

在宅医療は入院費用の**約3分の1**であり、一人の入院患者の費用で3人の在宅患者を診ることができる。

入院と在宅の費用比較



メディヴァ分析

(資料) 入院費用は10対1一般病床1ヶ月目の費用。介護保険居宅サービス料は「H24.4居宅サービス受給者の平均給付単位 (*10円)」の要介護2として算出。



療養場所による医療・介護費用の差

認知症の症状が悪化するまで介入せず、悪化後に病院・施設での生活が中心になった場合、10年間にかかる医療・介護費用は**約2700万円**になる。

早期介入によって自宅で生活できた場合、10年間にかかる医療・介護費用は、初期集中支援の費用を含めても**約1400万円（約50%）**に抑えられる。

認知症の療養場所別 10年間の費用

病院・施設中心

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	
発症	自宅 (支援なし)	自宅 (支援なし)	自宅 (支援なし)	精神科 病院	精神科 病院	特養	特養	特養	特養	特養	死亡
	-	-	-	悪化 入院 要介護2	要介護2	要介護2	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
				540 万円	540 万円	301 万円	301 万円	324 万円	343 万円	362 万円	

← 10年間にかかる費用 約2,700万円 →

自宅中心

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	
発症	自宅	自宅	自宅	自宅	自宅	自宅	自宅	自宅	自宅	自宅	死亡
	初期 集中 要介護1	要介護1	要介護1	要介護2	要介護2	要介護2	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
	89+ 17 万円	89 万円	89 万円	122 万円	122 万円	122 万円	122 万円	181 万円	221 万円	270 万円	

← 10年間にかかる費用 約1,400万円 →

※桜新町UCへのヒアリングにより作成



入院による認知症療養は、自宅、施設と比べて突出して高い

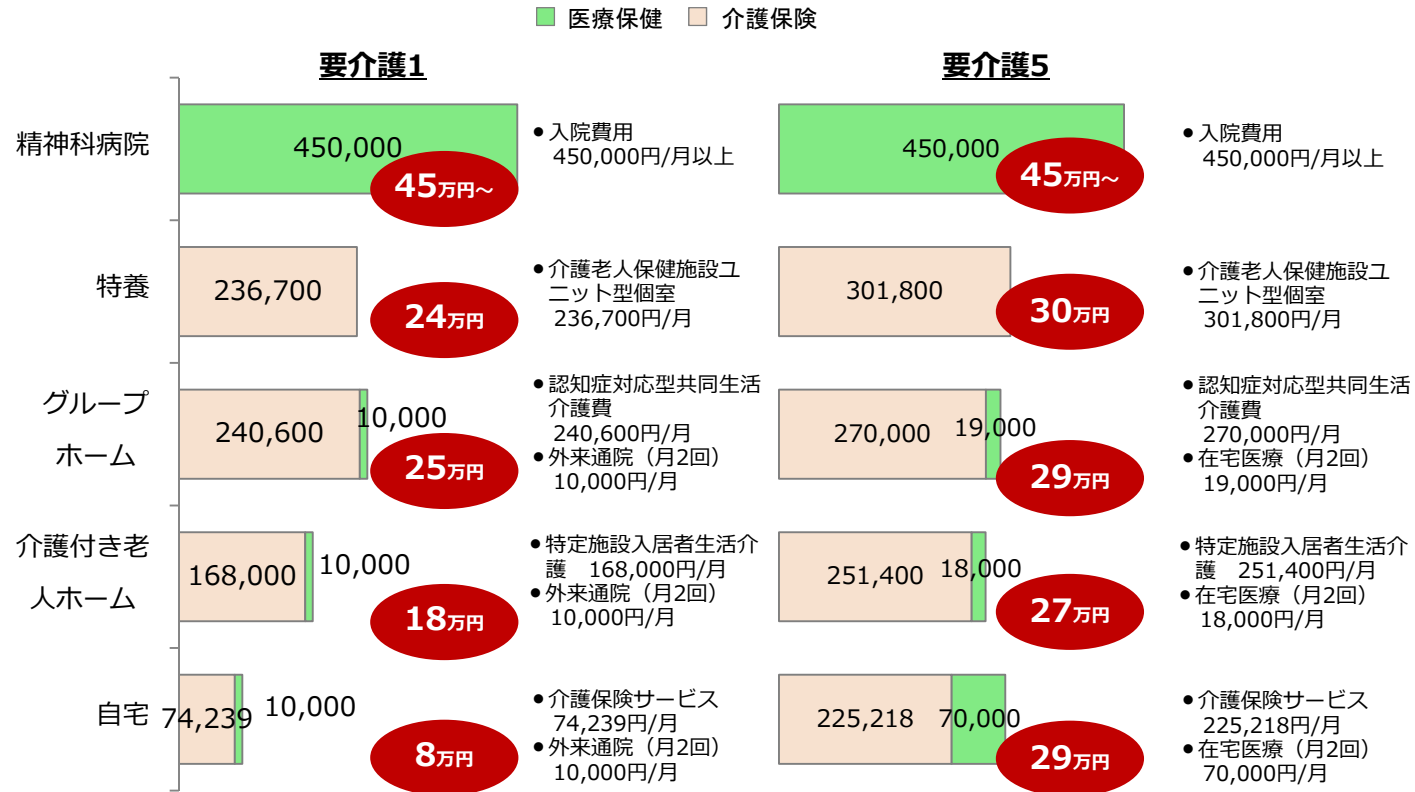
認知症患者の療養場所として、精神病院、介護施設（グループホーム、特養）、在宅の費用を比較。

要介護度に関わらず、入院による認知症療養は月額**45万円**以上かかり、その他の療養場所（施設・自宅）と比べ、

突出して高い。

一方、要介護度が上がると、医療依存度が高くなる傾向があるため、**自宅と施設の費用差は少なくなる。**

要介護度別 医療・介護費用比較 (単位:円)



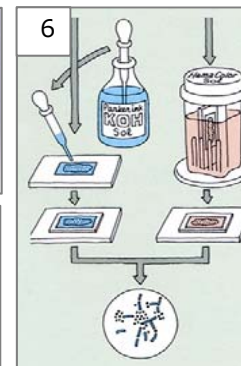
(資料) 当社調べ。インフォーマルコストは含まれていない。在宅の介護保険居宅サービス料は「H24.4居宅サービス受給者の平均給付単位 (*10円)」の要介護2として算出。



在宅医療で可能な検査、在宅医療での治療・処置器具（例示）

在宅医療で可能な検査

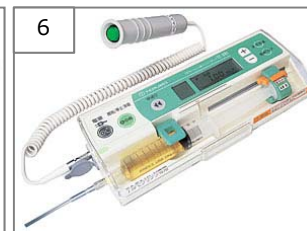
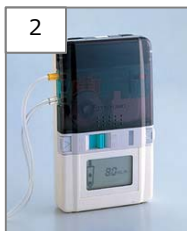
検査名	①血液検査	②超音波検査	③内視鏡検査	④心電図検査	⑤X線撮影	⑥皮膚検査	⑦肺機能検査
評価内容	<ul style="list-style-type: none"> 栄養状態 各臓器の機能（心不全・腎不全・肝不全） 感染症 脱水症 電解質・代謝異常 腫瘍マーカー 	<ul style="list-style-type: none"> 腹部救急・胸水・腹水・心嚢水 心機能 肺高血圧・脱水 排尿障害 下肢の血管病変 悪性腫瘍の進展 	<ul style="list-style-type: none"> 胃瘻交換時の挿入部位確認 嚥下評価 直視下吸引など 	<ul style="list-style-type: none"> 狭心症・心筋梗塞などの診断 完全房室ブロックなどの伝導障害 不整脈 失神発作 	<ul style="list-style-type: none"> 肺炎 骨折 	<ul style="list-style-type: none"> 真菌症の診断 疥癬の診断 	<ul style="list-style-type: none"> 気管支喘息や肺気腫など、肺の呼吸機能の検査
検査機器・方法例	アイスタット 扶桑薬品工業	Vscan GE	FP-7RBS2 ペンタックス	CardioStar FX-7102 フクダ電子	CXDI-70C Wireless 荏原実業	KOH法など	マイクロスパイ □ HI-201 日本光電



資料：「在宅医療」メディカルレビュー社

在宅医療での治療・処置器具

治療 処置	①胃（腸）ろう 経鼻経管栄養	②在宅中心静脈 栄養（IVH）	③在宅酸素療法	④在宅人工呼吸 器	⑤在宅自己注射	⑥輸液	⑦腹膜透析
使用する 医療機器		カフティポンプ	酸素濃縮器 携帯用酸素ボンベ	人工呼吸器	血糖測定セット	シリンジポンプ	自動腹膜灌流装置
使用する 医療材料	<ul style="list-style-type: none"> 胃ろうチューブ イルリガートル 潤滑剤 シリンジ Yカットガーゼ 蒸留水 	<ul style="list-style-type: none"> コアレスニードルセット ポンプ用ルーラー Yカットガーゼ フィルムドレッシング材 プッシュ綿棒 	<ul style="list-style-type: none"> カヌーラ マスク チューブ 	<ul style="list-style-type: none"> 蛇管一式 アンビューバック式 カスケード 加温・加湿モジュール フィルター テストラング 	<ul style="list-style-type: none"> 自己注射セット 	<ul style="list-style-type: none"> シリンジ エックステンションチューブ 留置針 	<ul style="list-style-type: none"> 廃液バッグ 接続チューブ カテーテル チタニウムアダプター



資料：「在宅医療」メディカルレビュー社、「在宅医療テキスト」勇美記念財団

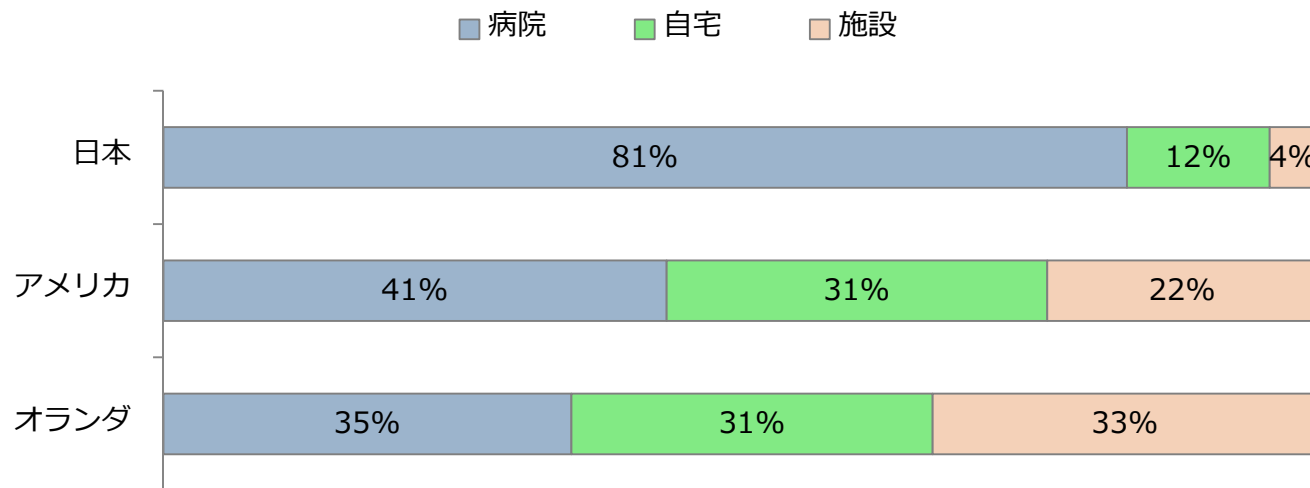


海外の看取りは、病院：居宅：施設が等分

日本においては病院での看取りが**8割**を占めるが、諸外国においては、**病院：居宅：施設が1：1：1**となっている。

独居老人、老々介護、認々介護が増える中、暮らし・看取りの場としての**施設**（有料老人ホーム、サービス付高齢者住宅、グループホーム等）の**重要度**は増すとされる。

死亡場所の国際比較



※「施設」の中には、オランダは高齢者ホーム、日本は介護老人保険施設が含まれる。オランダの「自宅」には施設以外の「その他」も含まれる。

資料 日本：厚生労働大臣官房統計情報部『人口動態統計』による2000年時点
オランダ：Centraal Bureau voor de Statistiekによる1998年時点（本編p91）
スウェーデン：Socialstyrelsen Dogen angår oss allaによる1996年時点（本編p48）
※ 他国との比較のため日本のデータは2000年次点のデータを使用

出典：医療経済研究機構「要介護高齢者の終末期における医療に関する研究報告書」



欧米における「施設」

海外における「施設」は、**アットホームな建物**と、コミュニティづくりや生きがいづくり、余暇などの**ソフト・サービス**に重点が置かれているように見える。

オランダでは、自分と**バックグラウンドを共有する**認知症高齢者が、集まって住む住宅が普及。適度な生活参加、ガーデニングや散歩等の運動を活用することにより**減薬**に成功していた。

イギリスでは認知症高齢者の**失われた機能をサポートするデザイン**が専門的に研究され、導入されている。

アメリカでは、入居者が仲良く、楽しく過ごせるよう**積極的にコーディネート**するサービスに力が注がれていた。



▲アメリカ：高齢者向け施設、居室の様子



▲イギリス：施設内で市場が開催



イギリス：認知症に優しいデザイン▲



▲▲イギリス：住宅のように過ごせるホーム▶



撮影：桜新町アーバンクリニック、メディヴァスタッフ（2014）



本稿は「地域包括ケア・システム」が求められる背景と、
今後整備していくうえで課題となる「在宅医療」等の諸問題について、
当社が分析もしくは収集したデータや事例等の**ファクト**に基づき説明し、
提言したものである。

株式会社メディヴァ



株式会社メディヴァ — 企業概要

株式会社メディヴァ

設立 2000年6月

資本金 15,800万円

代表者 代表取締役 大石佳能子
 役員構成 取締役 小松大介
 取締役 岩崎克治
 取締役 白根真
 取締役 亀田隆明
 取締役 亀田信介
 取締役 亀田省吾
 取締役 小室明義

Website

<http://www.mediva.co.jp/>

Mission : 患者視点の医療改革

